

広報

かわにし

NO. 452

平成 8 年 4 月 10 日



だ
ん
ご
ま
き

無病息災を
願って

春はもうそこまで
冬の名残りの
雪上リクリエーション



今年度は 川西町誕生40周年の年 です。
第5次総合開発計画の初年度



〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き

—4月1日現在—

男	4,279 (−17)
女	4,350 (−13)
計	8,629 (−30)
世帯数	2,226 (−27)
() は前月比較	

議会報告

三月一日から始まった第二回町議会定例会は、二十二日に全日程を終え閉会しました。

四日、町長の施政方針演説と新年度予算の提案説明があり、以後、各常任委員会の調査を経て、二十二日に平成八年度川西町一般会計予算と六つの特別会計、一つの事業会計が成立しました。

また、川西町保育園設置条例の一部を改正する条例は三件の条例改正を可決。続いて、新潟県十日町市川西町衛生施設組合規約の変更ほか一件の規約変更を可決しました。次に、児童、生徒における「いじめ」等の対策強化に関する意見書ほか一件の意見書提出を決めました。

南雲町長の平成八年度施策方針からその概要を紹介します。



平成八年度は、川西町が誕生した昭和三十一年九月一日から数えて四十年目という節目にあたります。また、一昨年来、町民の皆様と共に考え、夢を語り合って組み立ててまいりました第五次川西町総合開発計画のスタートの年でもあります。本年が、これら記念すべき節目の年にあることを深く認識し、川西町のまちづくりに関わった先人のご苦労に思いをはせ、さらに現在の町民八、七〇〇人一人ひとりの幸せを求め、全力で町政の運営に当たりたいとあらためてお誓い申し上げるものであります。

第五次総合開発計画は、十年後の平成十七年度を目標年度としたまちづくりの基本方向を「快適な暮らしの中に、安らぎと感動のあるまちづくり」と定めています。これが意味するところは、多様な産業・文化活動が活発に展開され、町民一人ひとりが快適で安心して生活できることを基本に、日々心をとめかせながら、楽しさ、喜び、誇りを実感できる町を目指したいというものであります。

今後十年というと、社会経済構造の変革の度合いは推し量りようもないところがあります。しかしながら、国においても緊急の課題としている日本経済の再建という部分では、構造改革が不可欠で、規制緩和こそが経済の活力を取り戻す切り札として捉えているところから、わが川西町においても、産業分野を中心に大きく影響を受けるものと推測されるものですし、「人生八十年」という高齢化社会においては、公共施設ひとつを取っても高齢者の視点での設計が必要と思われましますし、家族のあり方、ライフスタイルのあり方等も個々において意識の変革が求められる時代になってきたのではないかと考えております。

二十世紀の終末にきて、まさに激流ともいえる時代変革のさなかにあります。社会経済情勢と共に変化する町民のニーズを的確に捉え、第五次総合開発計画で定めた指針に基づき、以下申し上げることを重点として平成八年度の町政運営に当たり、輝ける二十一世紀百年間の礎を一步いっば築き上げて行きたいと念願しております。

夢を育む人づくり

未来に展望が開ける地域とするには、そこに住む人たちが自立的な地域社会を築いていく必要があります。そのため、心豊かで創造性あふれる人づくりを進めなければなりません。

学校教育においては、知育・体育の充実はもちろんのこととし、本年は徳育、心の分野を重視します。

不登校・いじめ対策として新規に町単独で教育相談員を配置し、



栄冠を勝ち取るのはどのチームか
(H4・10・11 第8回町民体育祭より)

児童生徒、保護者、教員に対するきめ細かな相談業務を実施します。また、県単補助が終了した、上野小学校、橘小学校、川西中学校の「いきいきスクール推進事業」についても、町単独事業として、引き続き事業実施いたします。

生涯学習は、地域スポーツリフレッシュ事業として、昨年度から取り組みました「庚塚野球場大規模改造工事」が完成し、本年六月三十日にはリニューアルオープンすることとなりました。グラウンドを大きく拡張した他、外野部分を全面芝張りした新装庚塚野球場に、多くの皆様方から足をお運びいただき、野球に限らず、さまざまなスポーツ、レクリエーションにご利用いただきたいと念願しております。

さらに、ソフト面においても生涯スポーツのリフレッシュを図るため、本年度から三年間、県から

健康で安心して暮らせる地域づくり

スポーツ担当の社会教育主事を派遣いただき、体系的な推進計画の策定などに指導をいただくことになっていきます。

本年はアトラクタにおいてオリンピックが開催されますが、川西町においても四年ごとのイベント、町民体育祭が十月十日に予定されています。九回目を数えますが、生涯スポーツに親しむ場、地域住民の交流の場として、川西町誕生四十周年の年にふさわしい体育祭となるよう、町民各位の格別のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

川西町の本年二月一日現在の六十五歳以上の人口率は、二十四・三パーセントです。このような高齢化社会においては、健康で安心して暮らせる地域づくりが、従来にも増して重要な住民ニーズであると認識するものであります。

保健医療福祉を連携する施設整備的な対策は、一応のレベルに達していると評価するものですが、今後は、その機能をより高く活かせるソフト対策の充実を図ります。

その一つとして、新規に「国保診療所受診者健康管理データバンク事業」を実施いたします。これは全国においても先進的な事業で、住民課の保健婦と在宅介護支援セ



現在、13のボランティアグループが活動中

センターのホームヘルパーがコンビ
ューターに蓄積した老人訪問の記
録を、今までの、保健婦とホーム
ヘルパー相互の情報活用だけでな
く、新たに、国保診療所医師もそ
の情報を活用できるようにコンピ
ューターのネットワークを拡大す
るものです。この事業が病氣治療
だけでなく、お年寄り一人ひとり
を大切にしたい確な疾病予防指導
や寝たきり状態をできるだけ防ぐ
健康教育に有効に機能するものと、
大きく期待するものであります。

地域福祉の原点である地域住民
による相互扶助を推進するため、
新規に、社会福祉協議会が行う
「あつたかネットワーク推進事業」
に助成いたします。行政だけでは
確立しえない地域福祉という分野
では、これまで老人給食サービス
事業等に活発なボランティア活動
をいただいております、さらに今冬か

ら若者による除雪ボランティアも
始まったところであります。この
ような住民活動は、県下百十二市
町村においてもトップレベルにあ
るものと高く評価するものです。
しかしながら高齢化の進展に対応
するためには、もっと広く、地域
住民一人ひとりが福祉マンパワ
ーたる必要となります。その
住民意識の醸成と実践に本事業を
活用したいと考えています。

子供の生まれる数が減少してい
く「少子化」については、一人の
女性が生涯に生む子供の数が減少
しているという全国的な傾向と共
に、当町においては過疎化という
要因も織混ぜられ、大変残念なが
ら厳しい状況にあります。

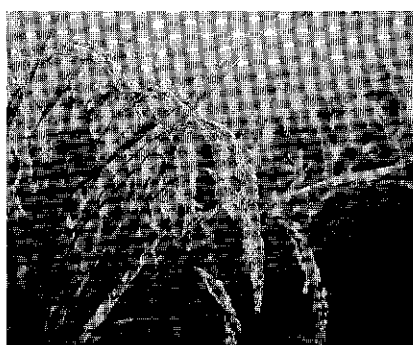
そのため、子供を生み育てられ
る環境づくりの一環として、従来
から二十パーセント程度の保育料
の軽減に取り組み、子育てを支援
してまいりましたが、平成七年度
はさらに強化して三十五パーセン
トの軽減とし、八年度も引き続き
実施いたします。

働く喜びにあふれる 産業づくり

農業をめぐる情勢は、米のミニ
マム・アクセスの実施や「作る自
由」、「売る自由」を基本理念と
した新食糧法の施行など大きな転
換期にあります。このため、「魚
沼川西米」としての名産を勝ち得

ている川西町農業ですが、大きな
影響を受けざるを得ません。

しかしながら当町の農業は、生
産組織の再編統合、法人化という
大課題があるにせよ、生産基盤に
おいては、現在事業実施中であり
ます。県営かんがい排水事業につ
いては、農業用の五ダム施設の集
管理が本年一部供用開始となりま
すし、県営防災ダム事業について
も、長福寺ダムは本年五月に定礎
式、坪山ダムは秋から試験湛水が
始まるという状況にあります。こ
れらを含め、昭和四十五年以來ほ
場整備事業などの農業生産基盤整
備及び生産施設整備に資本投下さ
れた総額は、一〇〇億円にも上り、
まさに川西町の財産として大いに
活用しなければなりません。幸い、
良質米生産地というもう一つの財
産もあります。現下の情勢は大変
厳しいものがありますが、これら



八十八の手間かけて食味満点
かわにしのコシヒカリ

地域メリットを活かすことで、川
西町農業に必ずや明るい展望が開
けるものと確信し、農業者を始め
関係各位の英知と相互協力のもと
に将来を切り拓きたいと念願する
ものであります。

さて、米の需給が緩んでいる情
勢から、価格の安定を図るため、
平成八年度は昨年度にも増した生
産調整となっています。国では完
全達成を目指し、「とも補償」制
度を創設いたしました。町でも農
業者の負担をできるだけ軽くする
ため、国に上乗せした助成をいた
します。これら助成制度の活用
のもと、農業者各位の特段のご理解
ご協力をいただきながら割当ての
達成を切に願うものであり
ます。

また、平成八年度から三年間、
新規に県単補助の「山間地域活性
化総合対策事業」が始まります。
三億円にも上る事業規模でありま
すが、八年度は新町新田に集会所
設が建設されるほか、生産組織に
農業機械が整備されます。

快適で美しい 環境づくり

町政の中で下水道事業が最重要
事業であることは、平成八年度も
変わりありません。国の経済対
策という追い風を受けたため、引
き続き順調な進捗が図れるものと
期待しております。

農業集落排水事業については、
仙田地区が平成八年度末でほぼ完
成となり、新たに中仙田の東地区
が供用可能区域に加わります。三
箇地区においても八年度末で完成
となりますが、五月には処理場の
稼働により一部供用開始の見込み
にあります。元町新町地区につ
いては、新規着工の運びとなりま
した。平成十一年度の完成を目指し、
鋭意事業進捗を図りたいと思いま
す。

また、千手地区の特環公共下水
道事業については、平成八年度末
の供用可能区域は、高原田の全域、
坪山の大部分及び伊友の一部に拡
大する見込みにあります。

以上の、集落排水及び特環公共
下水道の他に、合併浄化槽処理も
含めると、平成八年度末の町全
体の水洗化及び水洗化可能率は七
十五パーセントの見込みとなりま
した。今後も平成十三年の百パー
セントを目指し、町民各位のご協
力をいただきながら努力を重ねて
いきたいと思っております。

住宅対策として、平成七年度か
ら土地開発公社を事業主体にして
継続実施しています「山野田原住
宅団地造成事業」については、夏
頃、公募方式で二十六区画の売出
しを計画しています。十日町市街
地の直近にあること、眺望抜群の
河岸段丘の縁にあること、区画が
平均百坪程度と広いことなどから

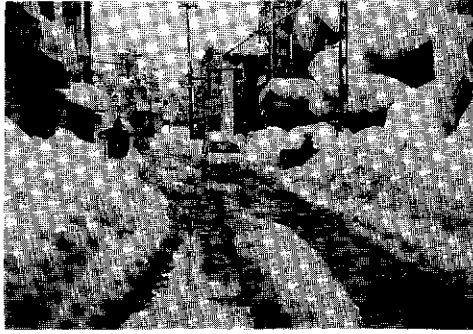
既に引合いがありますが、できるだけ若い人たちから定住していただけたらと思っております。

同団地内に建築中であります公営住宅については、入居数六戸の集合住宅ですが、本年十月に完成の予定であります。以上により、団地内には三十二世帯が新たに入居可能となりますので、百人以上の定住人口が得られるものと期待しております。

また、上野地区の居住環境条件の整備を図るため「街なみ環境整備事業」により、集会所施設を整備いたします。本年秋に供用開始できる予定にあります。

道路交通対策については、平成八年度の町道整備は、改良六路線、舗装八路線、維持補修十一路線を予定しており、事業費は一億七千万円余りを計上しました。

国道の関係では、国道四〇三号の浜海トンネルが、いよいよ十



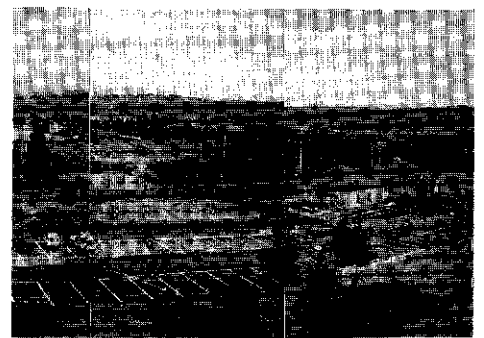
街路事業の導入が待たれる県道

月に供用開始となります。昭和六十三年十月に着工して以来、八年の歳月を掛けた延長八六〇メートルのトンネルにより大倉―大白倉間が一気に結ばれることになり、冬期間においても交通止めが回避され、仙田地区の振興上大きな効果が期待されます。

県道関係では、小千谷十日町津南線沿いの千手地区中心部に街路事業を導入すべく、鋭意推進を図ります。沿線住民の合意形成がなによりも優先されるため、住民代表を含めた専門委員会を設置し、気運醸成に努めることといたします。

楽しさ広がる ふるさとづくり

人間性豊かに生きるためには、自分にあつたライフスタイルと、ゆとりと生きがいをもって生活を樂しめる環境が必要です。ふるさと創生事業として平成二年に始まったナカゴグリーンパーク整備事業は、誇りが持てる楽しい生活環境が欲しいという住民ニーズが発端でしたが、ファミリーゴルフ場整備はその締めくくりとなる事業です。幸い、ナカゴグリーンパークは余暇活動の場として、毎年多くの町民からご利用いただいております。所期の目的を達成している状況にありますが、さらにファミリーゴルフ場整備により、既存の施



9月オープンに向けて工事の進むナカゴファミリーゴルフ場

設と相乗効果を發揮し、スケールアップした形で町民各位の利用に供されることとなります。本年九月一日をオープン日に設定していますが、交流の場、生涯学習の場、健康づくりの場などとして多様な住民ニーズに応えたいと考えています。

新規事業の「賑わい空間整備調査事業」ですが、川西町民にとつて、正に「夢」の温泉が昨年二月に湧出したことを契機として、第五次総合開発計画策定の経過の中で練りだされ、重要なプロジェクトとして位置づけられたものです。温泉という町民全体の宝を、地域課題を解決し、最大限地域の活性化に役立たせようということを基本的な戦略としており、イメージ的には、県道の街路事業と連携した形で、千手温泉を核として、文化学習施設、若者住宅、公園、店舗集積などの一体的な集中整備に

より、人の賑わう新しい多機能複合空間を創出しようという事です。平成八年度は基本的な調査を開始するべく、所要の経費の予算を計上してありますが、この面的に広がりを持つビックプロジェクトが完成に到るかどうかは、関係住民各位のご理解とご協力をいただけるかどうかということは当然ながら、関係諸団体が行政と一体となり、自らの事として熱意を持ち、困難を乗り越えながらも推進していけるかどうかにかかっていると認識するものであります。

平成八年度が川西町誕生四十周年に当たることから、その記念事業について、多くの町民の皆様から参加いただけるものとして川西大まつり等いくつか計画しております。具体的な実施方法については、庁内の実行委員会で更に検討を重ねた後、町民各位にご協力を賜りたいと考えております。

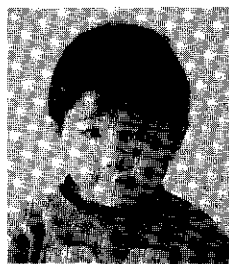
開かれた 自主的行政の推進

まちづくりの主役は町民であることは言うまでもありません。町民一人ひとりが町を愛し、地域社会の担い手として自立し、積極的行動するまちづくりを推進します。このような住民自治、自立の原則を確保することこそが地方分権の趣旨であり、必要以上に行政が肥大化することを食い止め、多

様な住民ニーズに応えることにもなります。

このため、今まで以上に町民の自主性、創造性を發揮できる行政システムを確立する必要があります。昨年十一月に策定した行政改革大綱に基づき改革を進めなければなりません。改革をするということ、は、物事の枠組みを従来にない形に変えることでもあり、町民の皆様にも痛みを分かちあつていただくこともお願いせざるを得ません。平成八年度における各種公共料金の値上げについては、①歳入の確保を図るというばかりでなく、②コスト主義に基づき受益者において負担の公平を確保することが、住民自治を担保することになることもご理解をいただきたいと思ひます。

なお、行政改革大綱は、役場職員自体にも社会経済情勢の変化にあわせた意識変革を求めており、「国・県との職員相互派遣交流」は、その一つの手立てともなるものです。また、改革の一環として、公金の使い方を規律するという意味から、交際費を始めとし、食糧費及び補助金について三十パーセントの削減を図りました。



① 登坂 涼^{りょう}
② 発電所通り西
③ 武夫



① 川崎 純^{じゅん}
② 発電所通り西
③ 充

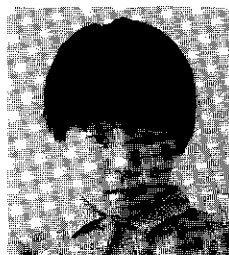


① 片桐 涼子^{りょうこ}
② 山野田
③ 義仁

千手小学校 (39人)



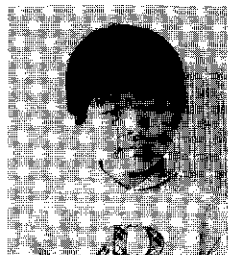
四月五日、町内の各小学校で、入学式が行われました。今年の一年生は、四校合わせて69人(男子34人、女子35人)です。各小学校の一年生を紹介しします。敬称略・順不同 ①氏名②住所③保護者名



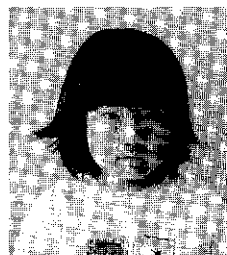
① 高橋 征也^{せいや}
② 栄町
③ 登



① 押木 優花^{ゆうか}
② 栄町
③ 昇



① 上藤 祐也^{ゆうや}
② 発電所通り東
③ 寿彦



① 尾身 李奈^{りな}
② 発電所通り東
③ 尚登



① 蔵品 麻弥^{まや}
② 四郎兼
③ 春夫



① 小野塚 裕^{ひろし}
② 四郎兼
③ 繁



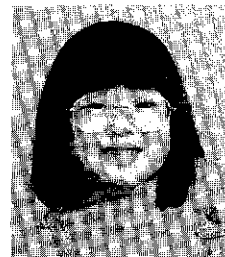
① 馬場 健介^{けんすけ}
② 朝日町
③ 繁信



① 春日 優之介^{ゆうのすけ}
② 朝日町
③ 正彦



① 清水 佑樹^{ゆうき}
② 栄町
③ 昌昭



① 小黒 幸世^{さちよ}
② 中屋敷
③ 隆夫



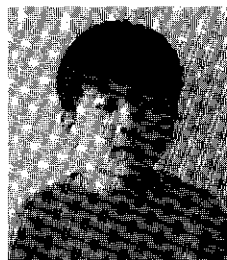
① 茂野 愛美^{まなみ}
② 学校町
③ 晶人



① 市川 匠^{たくみ}
② 学校町
③ 真



① 桜井 ゆかり
② 類子
③ 田中町



① 関口 誠^{まこと}
② 中央町
③ 智



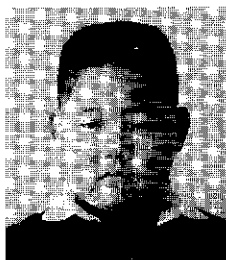
① 高橋 絢子^{あやこ}
② 東善寺
③ 勉



① 北村 美加^{みか}
② 東善寺
③ 憲一



① 星名 祐佳^{るか}
② 沖立
③ 洋一



① 星名 立樹^{たつき}
② 木島住宅
③ 弘行



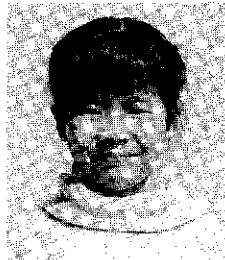
① 小林 則広^{のりひろ}
② 木島
③ 重則



① 高橋 舞^{まい}
② 寺尾
③ 松由



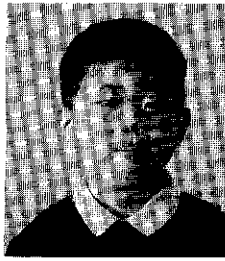
① 南雲 春佳^{はるか}
② 中屋敷
③ 守啓



① 丸山 範子^{のりこ}
② 中屋敷
③ 一郎



① 高橋 倫平^{りんぺい}
② 伊友
③ 林市



① 貴田 大地^{だいち}
② 伊友
③ 幸吉



① 春日 大輝^{だいき}
② 伊友
③ 和久



① 星名 美佳^{みか}
② 伊友
③ 和幸



① 柄沢 真紀^{まき}
② 沖立
③ 和久



① 相崎 祐輝^{ゆうき}
② 沖立
③ 浩二



① 蔵品 ちづる
② 霜条
③ 保夫



① 丸山 夏輝^{なつき}
② 霜条
③ 安彦



① 引間 彩菜^{あやな}
② 坪山
③ 春男



① 田村 沙織^{さおり}
② 高原田
③ 和男



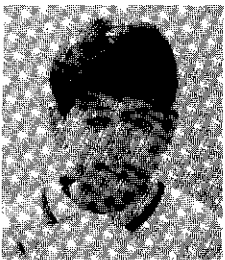
① 清水 亜沙美^{あさみ}
② 高原田
③ 久信



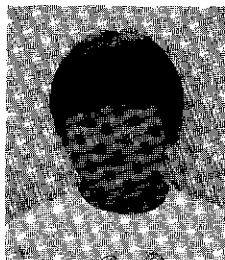
① 丸山 健志郎^{けんしろう}
② 高原田
③ 晃市



① 田村 沙貴^{さき}
② 上野
③ 晴基



① 金子 竜美^{たつみ}
② 上野
③ 茂



① 小林 直樹^{なおき}
② 上野
③ 光雄

上野小学校
(5人)



① 蔵品 あゆみ
② 霜条
③ 広行



① 田村 知佳^{ちか}
② 霜条
③ 豊



① 田口 裕也^{ゆうや}
② 木落
③ 秀樹



① 相馬 隆志^{たかし}
② 木落
③ 博



① 山家 成幸^{しげゆき}
② 木落
③ 利光

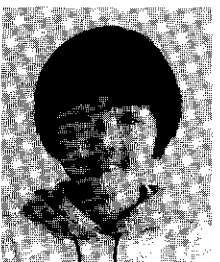
橘小学校
(21人)



① 小海 菜奈^{なな}
② 小根岸
③ 昭浩



① 高橋 未来^{みく}
② 小根岸
③ 大



① 戸田 彩加^{あやか}
② 仁田
③ 貴土



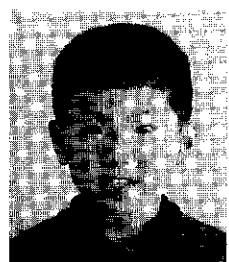
① 藤巻 友佳^{ゆか}
② 塩辛
③ 義明



① 藤巻 知美^{ともみ}
② 塩辛
③ 進



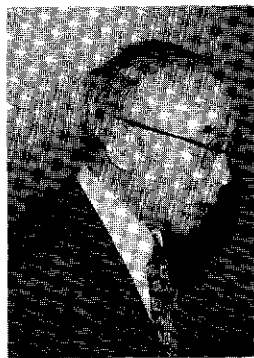
① 高津 好孝^{よしたか}
② 塩辛
③ 正則



① 山崎 渉^{わたる}
② 寺ヶ崎
③ 正



① 山家 大^{まさる}
② 木落
③ 勝一

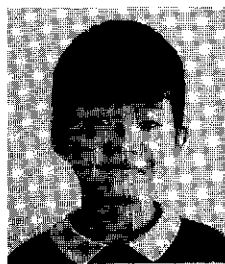


新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。元気いっぱい
の皆さんを小学校にお迎えでき、
喜びに堪えません。
ところで皆さんは、現在世界で
一番長生きしている生きものは何
か、知っていますか。
それは、日本の屋久島という所
にある、大きな「杉」の木です。
七千年以上も生きていと言われ

ているのです。
どうして、そんなに長生きでき
たのでしょうか。それは「強い」
からです。なぜ強いのかという
土の中に深く根を張っているから
だと言われています。根が浅く小
さいと木は大きくなれません。反
対に根が深く大きければ、たくさ
んの養分を吸収して、どんどんと
成長します。
皆さんも、その根を作るときに
しっかり勉強し、お友達を大切に
し、食べ物の好き嫌いしないで、
心と体をきたえてください。
父兄の皆様、これからが子育て
の本番、心の栄養を十分与えて、
「宝」を「大樹」に育ててください。



きょうこ
① 渡辺 響子
② 仁田
③ 重義



あきら
① 小幡 輝
② 仁田
③ 忠雄



ともひと
① 涌井 智仁
② 仁田
③ 昭夫



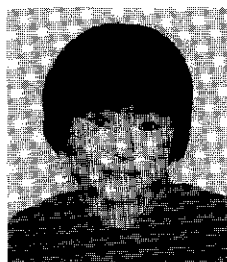
たかひろ
① 野沢 貴宏
② 野口
③ 勝美



りか
① 丸山 理加
② 野口
③ 幸男



さやか
① 中村 彩也香
② 仁田
③ 吉美



ゆき
① 中村 有希
② 大白倉
③ 庄平



なおや
① 丸山 直哉
② 根深
③ 茂



まさこ
① 根津 政子
② 原田
③ 栄一



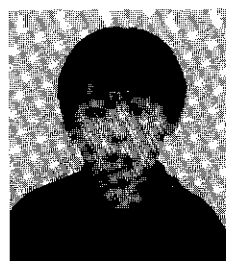
しゅんすけ
① 村越 俊介
② 野口
③ 仁



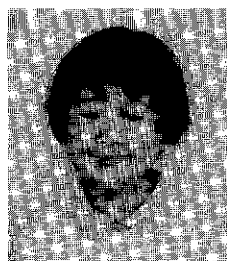
ひでゆき
① 佐藤 英之
② 野口
③ 喜一



ちえこ
① 村越 千恵子
② 野口
③ 吉明



よしひで
① 登坂 由英
② 岩瀬
③ 英雄



まこ
① 茂野 真子
② 室島
③ 宏行

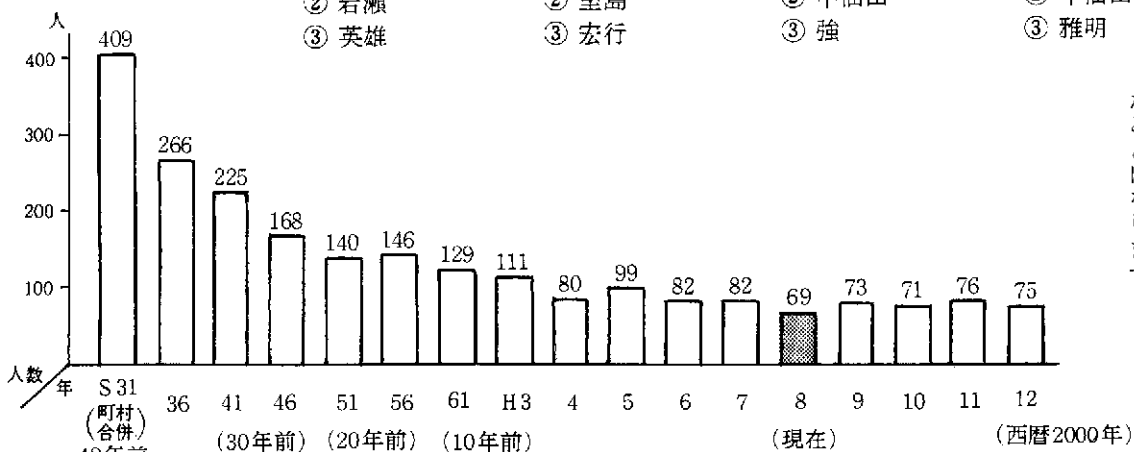


しょうた
① 押木 翔太
② 中仙田
③ 強



ゆきな
① 高橋 由紀奈
② 中仙田
③ 雅明

仙田小学校(4人)



新入学児童数の推移
川西町の誕生した昭和三十一年
から西暦二千年までの小学校新入
学児童数を表にしてみました。四
十年前は、今年の六倍にものぼる
ピカピカの一年生が校門をくぐっ
たことになりました。

地域づくりは自分の手で

町では、町内の各種団体やグループがそれぞれの地域の特性・資源などを活用して行う、個性的で魅力ある地域づくり事業に対して「地域活性プロジェクト支援事業」として助成し、住民自ら行う地域づくりを推進しています。

昨年は、十一事業を支援し、助成金総額は四四七万六千円でした。助成対象事業内容と合わせて次ページをご覧ください、積極的にご利用ください。

予算等の関係もありますので早目に申請してください。なお、申請多数の場合には、予算の範囲内で、補助金や補助率を調整する場合もありますのでご了承ください。昨年事業を実施した二団体より感想をお寄せいただきましたので紹介します。

ぶなの芽会 代表 清水美代子

地域活性プロジェクト支援事業のお世話になって「廃食油の石鹸化事業」に取り組みました。

手づくり状態で実施した石鹸作りでしたが、会員の皆さんや講習会参加者、なかまの家アクトの皆さんのご協力でなんとか軌道に乗ることができました。

最初は、油の状態が一定でないことや、気温、天候の状態で工程

に大きな違いが出たりして、とまどうこともありましたが、回を重ねるごとにスムーズに作業ができるようになりました。

講習会も含めて、これまで十三回石鹸作りを実施し、約四百リットルの廃食油で約四百六十キログラムの石鹸を作りました。

課題としては、石鹸の香りづくりや、一般家庭からの廃食油収集の体制づくりなどがありますが、これからも定期的に実施していきたいと思っています。

今回の事業では、講習会参加者を中心に、リサイクルや環境問題に関心を持つ人たちが増えたり、仲間同士のコミュニケーションが深まったことが大きな収穫だと思います。特に、なかまの家のみなさんと、「なかま同士」になれたことが一番楽しい成果です。



※この廃食油石鹸は、油汚れに効果が高く、特にお風呂磨きには最適とのことです。

問い合わせ先：清水美代子さん

〇六八―三一〇八

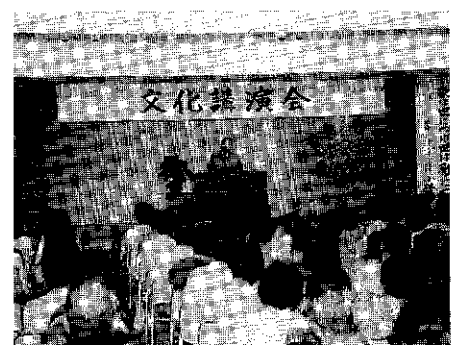
町商工会婦人部 代表 北野一美

「婦人部でも何かまちづくりにつながることをやりたいね」と話し合っているうちに、文化講演会を開催する運びになり、この事業で補助金をうけながら開催しました。

講師は、作曲家の小林亜星さんで、「歌は世につれ、世は歌につれ」と題して楽しく、わかりやすくお話をしていただきました。会場には約二百五十人が詰めかけ、笑いと拍手の渦で一杯になり、熱気あふれる講演会になりました。

婦人部としても初めての事業だったので、準備を進めていくうえでいろいろ苦労もありましたが、会員やいろいろなひとたちの助けを借りながら何とか成功することができました。

この事業をきっかけに、町内の様々なグループや、いろいろな活動をしている人と知り合いになることができました。私たちも、今まで知らなかったことがわかるようになって、積極的にいろいろな



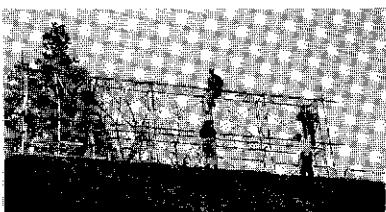
事業に参加するようになり、十一月に開催されたミュージカル公演はその一番大きなものでした。こうした活動を通して感じたことは、町のことを真剣に考え、楽しく活動している若い人たちがたくさんいるということでした。

こういう人たちが頑張っている今こそ、みんなで協力し合って、自分たちでできるまちづくりを進めていきたいと思っています。

写真でつづる 支援事業アレコレ



ビデオ製作とレゲエコンサート (次ページ表①・①)



中仙田ふれあい町づくり (次ページ表③)



ホテルの里づくり (次ページ表⑤)



野口の落語会 (次ページ表⑥)



大けやきの郷、赤谷 テレカ (次ページ表④)



根深遊園地整備 (次ページ表②)

平成七年度地域活性プロジェクト支援事業一覧表

番号	申請団体	事業名・場所	総事業費	内町補助金	番号	申請団体	事業名・場所	総事業費	内町補助金
①	ビデオクラブ かわにし 代表 高橋直人 会員 19人	《事業名》 決定版『ふれあいの里か わにし』ビデオ製作事業 《場所》 町内全域	335,924	201,000	⑦	上野青年会 代表 富井陽介 会員 15人	《事業名》 上野 寄席楽集 《場所》 JA新瀬川西上野支所	406,944	110,000
②	根深部落 代表 丸山和徳 会員 20人	《事業名》 部落遊園地整備事業 《場所》 根深集落中央	2,411,508	1,200,000	⑧	ブナの芽会 代表 清水美代子 会員 13人	《事業名》 廃食油の石鹸化事業 《場所》 なかまの家アクト(管理)	1,588,260	1,257,000
③	中仙田百円会 代表 南雲 弘 会員 55人	《事業名》 中仙田ふれあい町づくり 事業Part II 《場所》 仕田コミュニティセンター周辺	214,087	136,000	⑨	川西町商工会 婦人部 代表 北野一美 会員 88人	《事業名》 講演会開催事業 《場所》 川西町総合センター	723,696	322,000
④	赤谷若衆の会 代表 登坂英一 会員 19人	《事業名》 「大けやきの郷、赤谷」 づくり事業(第2次) 《場所》 赤谷集落全域	590,625	378,000	⑩	中仙田百円会 代表 小林時夫 会員 55人	《事業名》 サンタ・トナカイ 「夢」宅配事業 《場所》 中仙田地域	140,492	80,000
⑤	岩瀬ホタルの会 代表 登坂龍二 会員 12人	《事業名》 ホタルの里づくり 《場所》 岩瀬及び国道沿線	204,050	160,000	⑪	レゲエリパブリ ックオブカワニ シ 代表 清水俊治 会員 105人	《事業名》 ナカゴスブラッシュ'95 《場所》 ナカゴグリーンパーク	6,928,859	500,000
⑥	野口七H会 代表 村越浩明 会員 15人	《事業名》 落語会 《場所》 野口集落センター	325,291	132,000	合 計	11 事 業		13,869,736	4,476,000

地域活性プロジェクト支援事業とは

★事業実施団体などの範囲

地域づくりを目的に組織された構成員5人以上のグループや、各集落、PTA、老人会、青年会、芸能保存会などの団体を助成対象とします。

★事業採択の基準

- ①地域固有の歴史、文化、景観、産業、その他の特性及び資源を活用し、又は新たに創造することにより、地域の魅力と活力の向上を図る事業であること。
- ②補助対象事業費(補助対象となる事業経費の合計)が10万円以上の事業であること。
- ③団体などが自ら行う事業であって、原則として単年度で完了する事業であること。
- ④宗教行事や宗教的色彩の強い祭具・備品(御輿など)は対象外であること。
- ⑤国・県及び町の他の補助金、負担金などを受けて実施する事業は、原則として対象外であること。

★補助対象となる事業経費

助成対象となる事業経費は、主に設計管理などの委託費、工事請負費、備品購入費、消耗品費、印刷製本費、会場・物品などの借用料、会議茶菓代、講師謝礼金、通信運搬費、物品製作費、調査・研究などの旅費、原材料費などです。

★補助率などの基準

- ①補助率は補助対象事業費(補助対象事業経費の合計)の60パーセント以内。(特例として町が必要と認めた事業は80パーセント以内まで認める)
- ②補助金交付限度額はハード事業で200万円まで(特例は265万円)、ソフト事業で50万円まで(特例は65万円)までとする。

★たとえばこんな事業が対象に

- ①ハード事業の一例
 - ・ショウブ園の造成や集会所周辺に花壇を設置するなど、花いっぱい事業。
 - ・けやき、イチョウ、桜等の街路樹を植え、美しい景観をつくる事業。
 - ・夏季イベントでの雪活用事業。(雪保存場所の整備や保存シートの購入)
 - ・集落の入り口に、集落をPRする大看板を設置する事業。
- ②ソフト事業の一例
 - ・村づくり基本計画策定事業。(意識調査・解析・計画樹立など)
 - ・手作りの川西のど自慢大会の企画実行。
 - ・かぐら等地域の伝統芸能を復活させる事業。
 - ・落語などの演芸会、講演会などの企画実行。
 - ・住民が楽しく参加できる、ユニークなイベントの企画実行。

申請締切は5月31日



上野寄席楽集(上表⑦)

詳しくは開発課振興係までお問い合わせください。☎68-3111(内線32) 有線2133

ただ今受付中

人とひととのふれ合い秘湯塾

三月十六、十七日と中子グリーンパークをメイン会場に「えちご妻有郷・秘湯塾、かまくら&味覚―川西町―」が行われ、福岡市や東京都からの参加者を含め二十八人が早春の川西町を楽しみました。

この企画は、松代・松之山を含む広域六市町村で設立した越後妻有郷観光協議会とJR東日本がタイアップして実現したもので、本格的な広域観光の幕明けを意味しています。

参加者はスノーモービルで雪原に飛び出し、夜にはサンパレス脇の特設のかまくらで地酒やそばに舌鼓を打つなど、遅くまで笑い声が絶えませんでした。

二日目は、松乃井酒造場を見学した後、コシヒカリのおにぎりや郷土料理にまたまた舌鼓。「山菜の時期にはまた来ます」と再会を約して帰路につく人も大勢いらっしゃいました。

鳥追い行事を再現



―まちづくり自由大学―

―JOUターンの愛情タウンかわにし

まちづくり自由大学は、昨年六月二十八日の第一回開講から十月二十五日の第六回まで、それぞれの分野の専門の先生を講師に迎え、開講してきました。今回、そのま

富田實さん（大白倉・レザークラフト作家）は「大白倉には天の川が肉眼で見られるようなすばらしい環境がある」。高橋光子さん（田戸・YAROKAI所属）は「他

地域との交流会の際には、町の自慢は人と答えている」。羽鳥宏史さん（中央町・町商工会青年部長）は「無味無息の空気のおいしさ」など、いろいろな意見が出されました。

翌二十四日は、各分野で活躍している方々五人をパネリストに迎え、多摩大学の望月照彦教授をコーディネーターに一愛あるまちづくり」と題したパネルディスカッションが行われ、示唆に富む多くの提言や意見があり、参加した方は何度もうなずいておられました。

町教育委員会では、平成八年度も引き続いて「まちづくり自由大学」を開講する予定であります。日程が決まりましたお知らせしますので、大勢の皆様のご参加をお願いいたします。

初日の二十三日は、いろいろなパターンで町にきた（帰ってきた）方によるIJOUミミーティング。『あなたにとって町の白慢（宝）は』との問いに、山口ブランカさん（仁田・主婦）は「二人の子供が生まれたことが宝。自動車免許をとれたのも日本語教室のおかげ」。



3/23 IJOUミミーティングより

がんばれ！21世紀のお母さん

三月九日と十日の二回、総合センターで料理教室が行われ、十二組十八人の親子が参加し、栄養のバランスのとれた食事を作る楽しさや食べる喜びを実習しました。

参加した子供さんからは、「簡単に作れておいしかったのでまた家で作ってみたい」や「人参が嫌いで食べられなかったけど、人参ごはんは食べれてよかった」など。

親子さんからは、「普段はどうしても加工品や冷凍品を使ってしまいがちですが、こんなに簡単なおいしいものができたので手作りするようになってみたい」や「なかなか子供と一緒に料理を作る機会がない。子



エプロン姿も決まってる

高橋さんBSNふるさとCM大賞を受賞

CM大賞を受賞

高橋直人さん（赤谷）の製作した「おいでよ雪の川西へ」が第四回BSNふるさとCM大賞の『大賞』を受賞。これは、新潟県内の市町村の特色などを適格にしかもユニークに表現し、市町村をアピールしようという目的をもっています。

高橋さんの作品は、冷たくてどちらかというと暗いイメージの雪が、スキーや雪まつりなどをおしてホットな楽しみの対象へと変



川西町への歩み②

岩瀬金子幸作

観音様を宗正が守護

坂上田村麿呂が千手観世音像を安置し、伊勢の平氏友重らを守護に残して都に去った。この由来から村の名が伊勢平治、友重になったという口伝には疑問がある。というの、伊勢の平氏が初めて史上に現われるのは、水口沢村に観音堂が建立されてから三百年も後の話であり、また、「伊勢平次(のちの平家)」村と友重村は寿永の乱(一一八三)の後に平氏の落人が住み着いて成立した、観音堂の創立とは無縁である」という水口沢村有古文書の記載が有力視されるからである。

それならそれが守護してきたかという真実を追うと、そこに浮上してくるのはやはり半藤宗正という人物になる。後年、宗正は鶴吉と松葉沢の間に宗正村を開いたが村建ては無く、村の百姓たちは中屋敷村に居住し、元禄初年には千手新田の構成村になって今も宗正の地名が残っている。

観音様を守護した半藤宗正の墓が、長徳寺境内墓地の中央に昭和十年代まで存在した。宗正につながると思われるこの位牌は、観音像の脇侍の位牌堂に安置されていたらしいが、天文二十三年(一五五四)の火災で本仏が消失したさい類焼を免れ、以後は代々の水口沢総代が継承して自家の仏壇に安置してきたと聞いている。それが明治初年に観音様の帰属をめぐって千手新田五カ村(山野田、東善寺、水口沢、上新井、中屋敷)と伊勢平治、友重の間で紛争が起こったとき、話の成り行きで流浪的な変せんを余儀なくされ、大正期に入って田中は隠居様の旦那が引き取ってから同家で大切に祀られてきた。それを、戦後の混乱期(昭和二十年代)に山崎屋の先々代(古美術商)が調べたら半藤宗正にゆかりの位牌であることがわかり、血筋をたどって半藤政三家

に安置を託し、以来同家でお護りして現在に至っている。

金箔も煤けた歳月

位牌(写真)は高さ六十三センチ、文字を書く部分が縦二十三、横十センチメートルで、両扉が純金箔で飾られた観音開きになっている。台座は縦十七センチ、横二十二センチメートルの豪華で重厚な造りで、屋根も金箔に彩られて並の位牌でないことをうかがわせる。全体が真黒に煤けており、文字を読めないのは残念だが、それだけ長い年月を平成の現在まで受け継がれてきた歴史の重みを感じさせる。

接統箇所白い部分に「宗正村半藤市三郎、両親共三人」と書かれてあるが、市三郎は宗正と同一人物なのか、それとも宗正村の開祖か、あるいは何代目かの市三郎が宗正と先祖を引つたものなのか謎は深まる。

平安期以前の人物か

位牌全体が長い年月で煤けたと思われるのに、文字を書く部分だけが黒光しているのは、何とか読みたくて子孫がこすったのではなにかと思われるが、そのために字が消えたとすれば説明は不可能に近い。できれば赤外線カメラで撮影してみても、それでもわからないときは専門家に鑑定を依頼してみたい。調査するにはかなりの費用(謝礼)も必要になるが、この位牌はそれだけの金をかけても調べてみる価値がある。

平安期以前の人物か

千手観世音像を守護する長徳寺の副住職で、伊友の歴史民俗資料館に勤める奥山寛千川西町文化財調査審議会委員は次のように語っている。

観音像守護のために、田村麿呂が伊勢平治友重を長に上卒を残したか、それとも半藤宗正に守護させたのか、どちらの口伝にも真実を証明するだけの史料が乏しく、またこれを否定する証拠もない。とはいえ、一千有余年を経た今もなおふたつの説が伝わっている意味を考えると、時代に多少のズレはあっても、両者が観音様の守護に深く関わってきた事実を否定できないのではなからうか。

問題の位牌を拝ませてもらう、私が想像していたよりもはるかに大きくて豪華な造りにビックリした。黒塗りの木地に高度な技術で金箔が余すところなく貼られている様子がわかり、鎌倉、平安時代よりも前の、それとかなり身分の高い人物を引つた位牌と推定できなくもない。口伝や史料を究明するには「まず疑ってみる」ことが鉄則のようだが、かりに、半藤宗正のものではなかったにしても、これまで宗正にゆかりの位牌として、長い年月を大勢の人びとが大切に守ってきた歴史はそれなりに貴重な文化財といえる。

半藤家と位牌の謎

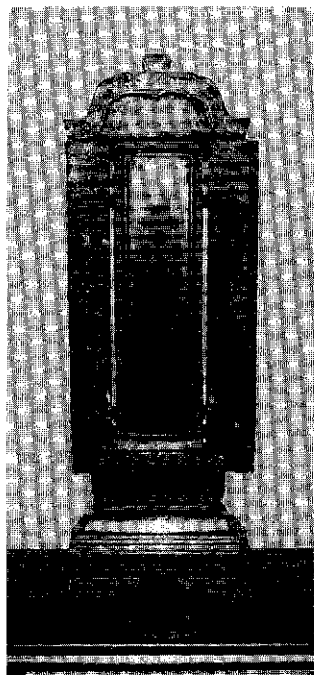
この事実を裏付けるにふさわしい半藤家の位牌が、宗正の流れを汲む半藤ウメノ宅(屋号は宗正、東善寺)の仏壇に今もひっそり祀

られていることをつい最近になって知った。この耳よりな話を聞かせてくれた半藤伊三郎川西町老人福祉相談指導員は、宗正家から隠居した末裔の一人で、位牌のたどった数奇な運命を雄弁で次のように語っている。

位牌(写真)は高さ六十三センチ、文字を書く部分が縦二十三、横十センチメートルで、両扉が純金箔で飾られた観音開きになっている。台座は縦十七センチ、横二十二センチメートルの豪華で重厚な造りで、屋根も金箔に彩られて並の位牌でないことをうかがわせる。全体が真黒に煤けており、文字を読めないのは残念だが、それだけ長い年月を平成の現在まで受け継がれてきた歴史の重みを感じさせる。

接統箇所白い部分に「宗正村半藤市三郎、両親共三人」と書かれてあるが、市三郎は宗正と同一人物なのか、それとも宗正村の開祖か、あるいは何代目かの市三郎が宗正と先祖を引つたものなのか謎は深まる。

平安期以前の人物か



半藤宗正にゆかりの位牌
東善寺 半藤宗正家蔵

図書室だより

◎自分をまもる本

晶文社

◎老いの道づれ

沢村貞子

岩波書店

◎テロリストのパラソル

藤原伊織 講談社

◎新潟のいじめ

新潟日報社

◎黄落

佐江衆一 新潮社

◎秀吉(上)

堺屋太一

日本放送出版

◎神戸震災日記

田中康夫

新潮社

◎日本の選択

木村太郎

キネマ旬報社

◎アメリカの中のヒロシマ上・下

岩波書店

◎KYOKO 村上 龍 集英社

本は、川西町総合センター内の

公民館図書室にあります。どうぞ

ご利用ください。

善 意

(敬称略)

学校給食に

北村 秋江 (東善寺)

仕込みみそ 230kg

暮らしのカレンダー

4 月	
10	
11	ツ反判定・BCG (克雪センター)
12	
13	
14	心配ごと相談 (上野コミセン)
15	ツ反 (総合センター)
16	ツ反 (上野コミセン)
17	ツ反判定・BCG (総合センター) すくすく教室 (総合センター)
18	ツ反判定・BCG (上野コミセン)
19	健康相談 (保健センター)
20	
21	心配ごと相談 (克雪センター) 家族の日
22	
23	
24	
25	1歳6か月児健診 (保健センター)
26	リハビリ教室 (保健センター)
27	
28	心配ごと相談・行政相談 (総合センター)
29	信濃川河岸段丘ウォーク
30	ツ反 (高齢者コミセン) 納税振替日
5 月	
1	
2	ツ反判定・BCG (高齢者コミセン)
3	成人式 (川西中学校体育館)
4	山菜まつり (仙田小学校)
5	心配ごと相談 (上野コミセン)
6	二六公園ブナ林まつり
7	
8	
9	4か月児健診 (保健センター)
10	献血 リハビリ教室 (保健センター)

◎ は日曜日

◎ 時間など詳しくは、広報お知らせ版をご覧ください。

山 菜 ま つ り

と き 5 月 4 日 (土)

と ころ 仙田小学校体育館

詳しくは同まつりのチラシをご覧ください。

四月一日から適用

標準小作料

標準小作料は、農地法で
①決めてから三年経過した
とき、②生産費や農産物価
格などが著しく変動したと
きに改訂することになって
います。今回は、①の三年
経過の年に当たります。

標準小作料は、粗収益か
ら生産費と経営者報酬を控
除した額を、十アール単位
で算定します。

町農業委員会 (小林正人

また、図書室に収蔵して
もらいたい書籍等 (雑誌、
文庫本は除く) がありまし
たら、町教育委員会社会教
育係 (☎六八二二六七)
にご連絡ください。

会長) で検討した結果、今
までどおり据え置くことに
なりました。

下表備考欄に記載の地域
名などは、その地域内の農
地がおおむねその級地に属
することを示すものです。

個々の農地の標準小作料
は、共済収量等級などに
よることになります。

実際の小作料 (賃貸借料)

は、それぞれ貸す人と借り
る人双方の話し合いで決め
ることになります。その際、
この標準小作料を参考に、
上下三〇パーセント以内の
額で決めなければならない
ことになっています。

10アール当たり 標準小作料

農地区分		小作料の 標準額	備 考
県 田 地 域 の 一 般 地 域	1 級地	32,000円	※千手、上野、橘地区の県営ほ場整備事業による整備 地で整形田。 (共済収量等級11等級以上) ※主たる作物：水稲 10a当たり収量：500kg
	2 級地	27,000円	※千手、上野、橘地区の県営ほ場整備事業による整備 地で不整形田。 (共済収量等級12等級以下) ※主たる作物：水稲 10a当たり収量：480kg
	1 級地	27,000円	※水口沢、沖立、伊勢平治、高原田、霜条、坪山、 三領、小根岸、仁田、野口、中仙田、室島、田戸、 赤谷、岩瀬、大白倉の団体営のほ場整備地。 (共済収量等級11級以上) ※主たる作物：水稲 10a当たり収量：500kg
	2 級地	23,000円	※山野田、東善寺、中屋敷、上新井、鶴吉、上野、新 町新田、下平新田、木落、ヶ崎及び上記1級地域 のほ場未整備地。 (共済収量等級12等級以下) ※主たる作物：水稲 10a当たり収量：480kg
	3 級地	20,000円	※上記1級地及び2級地以外の地域。 (共済収量等級15等級以下) ※主たる作物：水稲 10a当たり収量：460kg
	畑 の 部	1 級地 14,000円 2 級地 10,000円 3 級地 8,000円 4 級地 4,000円	千手地区。 (固定資産税評価等級1～3等級) 上野地区。 (固定資産税評価等級4～6等級) 橘地区。 (固定資産税評価等級7～10等級) 仙田地区。 (固定資産税評価等級11等級以下)
付 帯 事 項		農地の等級区分は、農地の状況、耕作の条件、収量等を勘案 し、当事者の話し合いにより変級できるものとする。	
適用開始時期		平成8年4月1日	

お世話になります 役場の

ニューフェイス

四月一日付で事務職五人を採用しました。また、国・県との職員相互派遣交流により三人の方を迎え、新年度がスタートしました。職員を紹介します。

写真右から、総務課財政係 中川直也(仁田)、農林課農政係 清水祐一(上野)、環境整備課集落排水係 相崎文幸(沖立)、教育委員会生涯学習課社会体育係 目黒栄一(県から)、会計課 滋野直子(野口)、開発課振興係 星名秋彦(県から)、税務課住民税係 小野塚裕一(上野)、農林課農政係 玉置 賢(農林水産省から)です。よろしく願います。



かわい 俳壇 高崎正風選

こぼれ種の紫大根花盛り
新よもぎだんごに招かれ茶のうまし

綾瀬市 野沢ますえ
片栗の固きつばみに又も雪
つらら落つ嘘のようなるぬくさかな

野口 五十嵐トラ
誤配とて呼びとめられし雪の道
魚沼に毘沙門荒れと云う一口

野口 野沢 寅生
大雪にたちまち隣り遠くなり
夢に見し夫春耕の鋤を持ち

田中町 石沢 澄代
長閑かさや百の仏に百の顔
海見える席譲られて春の旅

練馬区 須藤 遊人
野仏の頭出で来し雪解かな
ふくらみし蕾の数や沈丁花

野口 村越 由喜
読み書きも食事と同じ炬燵かな
立春の鳩うなづきて豆拾ふ

八王子市 松浦 サク
ひと日ごと雪間ひろがる早さかな
夜に入りてなおこうとうと雪解満

山野田 藤田ひろ志
もの、芽の皆ふくらみて雨の中
大小の雪解川みな音たて

小白倉 江口みゆき
道の辺の地蔵菩薩の春陽かな
雪消しのスコップ休め話しつ

仁田 小幡しん女
雪解川城山けづる響きかな
カセットに和す心経や春彼岸

新町新田 若山 三郎
手のひらに乘せて眺めて露の聲
並べては楽しむ鉢の春の花

八王子市 松浦 サク
空カンの田毎々や大雪解
空カンの田に四ツ五ツ大雪解

水戸沢 高橋 願似
梅香る金婚の日を迎えけり
職決まる孫に大きな春の月

伊勢原市 金子 桂吉
田の跡とおぼしきところ片を摘む
ぼた餅の小豆煮ていし彼岸かな

大倉 中条 石平
草だんご食べつ母を想いけり
マンザクラ春一番を告げる花

江戸川区 小林 憲
山笑ひ野兎の毛色の変わり初む
小白倉 田中 優美

仮住いひなも小さく飾られて
足立区 涌井ハル子
朝早く子等と楽しも凍渡り

寺尾 白井すみい
瀬々らぎの泡の温みて流れ来し
霜条 大海 白涛

新らしき長寿番付春彼岸
高倉 斎木 和人
彼岸会の本堂に香満ちにけり

岩瀬 登坂伊智子
雪深い里に届きぬ梅だより
仁田 戸田 貞

陽あたりの良き庭先の白きもの
元町 金子 鉄平
バス停へエスカレーター地下温し

渥焚会の幼き子等の飴もちう
厚木市 川崎 保一
彼岸墓地まだまだ深き雪の中

八十を迎えし姉と湯治かな
上野 内山 寛平
黒姫と八海山の笑い合ふ

上野 入沢 はや
霜条 星名 早光
丹沢の山並み白く春浅し

相模原市 佐藤 周三
地さくらを供えし墓の雪深し
浦和市 登坂 博史

春一番雪消す頬にありにけり
霜条 蔵品ハツエ

糖尿病を予防しよう(3)

診断と治療

健康診断の尿検査で、尿糖が陽性という結果が出たら、空腹時血糖・糖負荷テスト・インスリンの分泌状態を調べて、糖尿病か否か診断します。

その結果、もし糖尿病と診断されても、悲感することはありませぬ。なぜなら糖尿病は、食事療法と運動療法の二本柱でコントロールすることが出来るからです。ただ、糖尿病の治療が成功するか否かは、一人ひとりの生活態度の改善にかかっています。食事療法と運動療法をきちんと実施しても血糖がコントロールできない場合には、薬の力を借りるようになります。それは、糖尿病治療の基本となる食事療法、運動療法、薬物療法について簡単に説明しましょう。

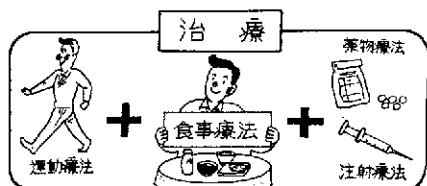
【食事療法】 自分の標準体重に合わせてカロリーを摂取します。一、二〇〇〜一、八〇〇キロカロリーでコントロールできる人が多いようですが、今までたくさん食べていた人が食事療法を始める、最初は空腹感に我慢できず、多目に食べてしまったり、間食したりすることがあります。しかし、食事療法は糖尿病治療の最も基本となるものですから、空腹感に負けないように自分に厳しくする必要があります。(詳しくは7月号に)

【運動療法】 激しい運動は必要としませんが、早歩き、階段の昇降、縄とび、水泳、サイクリング等を週三回(一回に三十分以上)は実施したいものです。運動療法を開始するにあたっては、かかりつけ医に必ず相談しましょう。

【薬物療法】 血糖をコントロールし、合併症の進行を予防するために行われますが、食事療法や運動療法でコントロールできている人には行いません。

糖尿病が増えるにつれ、失明や腎臓障害などの合併症で悩む人が多くなりました。合併症を防ぎ、健康な人と変わらない生活を行うには、適切な治療を早期に行うことが大切です。早期発見、早期治療に努めましょう。

富永国保診療所長談



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

山田 菜見子	弘史 仁 田
渡部 彩奈	文子 上 野
清水 淳矢	裕 悟 美 寺 尾
小林 実来	義明 中島町
内山 日和	直樹 新町新田
内山 大輝	直樹 新町新田
村越 星都	美佐子 野 口

たかさご—ご円満に

丸山 福太郎	直之 発電所
樋口 力斗	光幸 発電所
（羽）高濱 昌彦	伊友 富山県から
（羽）大海 千恵子	十日町市から
（小）野口 明美	赤谷 上越市から

昇天—ごめい福を祈る

青木 ノブ 83（一夫）田 戸
押木 サク 88（晃二）元 町

（3月1日〜31日届け出分）

表紙の写真

上段は、室島の相国寺で三月十七日に行われた「だんごまき」の様式です。当寺は、昨年の7・11水害により東側山腹の土砂が崩落し、庫裏（住居部）が全壊してしまふという被害にあわれましたが、平成七年十一月に復旧。例年どおり地域に春呼ぶ行事となりました。

下段は、木落で行われた雪上レクリエーションの様式です。この催しを企画した会では、三月十六日の夜から「百人ぼんやらどう」と名付けた雪室（五間×十間・五十坪）での交流会や翌十七日の雪上レクリエーションを実施。小学生が四十一人（平成七年度。八年度には三十九人）という町内ならではのにぎやかな会となりました。

休日救急医

4月14日 至誠堂医院（西浦東）
☎ 52-3276

21日 上村病院（中里村）
☎ 63-2111

28日 山口医院（袋町中）
☎ 52-2174

29日 池田医院（本町西）
☎ 52-2581

5月3日 大島医院（川原町）
☎ 52-2957

4日 庭野医院（寿町4）
☎ 52-2711

5日 国保診療所（高原田）
（クリニック川西）
☎ 68-2034

6日 山口医院（下条）
☎ 55-2003

12日 富田医院（神明町）
☎ 52-3269

◇日 中条病院（中条）
☎ 57-3018

ちいさな展覧会

93

（川西中学校）

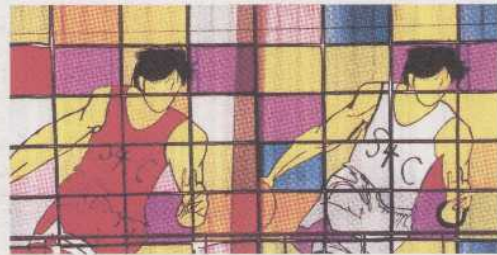


▲1年生 清水 望さん

学年は、平成7年度のものです



▲2年生 井上 冴子さん



▲1年2組 共同作品



▲2年生 水品 早絵さん



▲1年生 五十嵐 絵理子さん



▲2年1組 共同作品



▲2年生 小林 美喜さん



▲2年生 高橋 理恵さん

（5月号は千手小学校です）